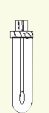



トキソプラズマ (*Toxoplasma gondii*)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
トキソプラズマ抗体	 血清（血漿） 0.05mL	 常温 冷蔵	4日以内	ELISA	<ol style="list-style-type: none"> 生後2ヶ月間は移行抗体が検出されることがあります。 本検査は帯広畜産大学原虫病研究センターのご協力をいただいております。

キャットフルセット（猫上部気道感染症セット）

- 猫の上部気道に感染する临床上重要な病原体をセットにした遺伝子検査です。
- 検査材料を複数お送りいただいた際は、検査材料を混ぜて検査させていただきます。分けて検査することも可能ですが、検査料金がそれぞれについてかかります。分けて検査ご希望の際はその旨を備考欄にお書きください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法				
猫カリシウイルス (FCV) 猫ヘルペスウイルス1型 (FHV-1) 猫クラミジア (<i>Chlamydia felis</i>) マイコプラズマ (<i>Mycoplasma felis</i>) ボルデテラ (<i>Bordetella bronchiseptica</i>)	 口腔スワブ 鼻粘膜スワブ 結膜スワブ 適量	 冷蔵	5日以内	<table border="1"> <tr> <td>FCV</td> <td>RT-PCR</td> </tr> <tr> <td>FHV-1 猫クラミジア マイコプラズマ ボルデテラ</td> <td>PCR</td> </tr> </table>	FCV	RT-PCR	FHV-1 猫クラミジア マイコプラズマ ボルデテラ	PCR
FCV	RT-PCR							
FHV-1 猫クラミジア マイコプラズマ ボルデテラ	PCR							

狂犬病

- ▶犬の感染症28ページを参照してください。

フェレットコロナウイルス遺伝子検査

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
フェレットコロナウイルス遺伝子検査	糞便	 冷蔵	4日以内	逆転写 ポリメラーゼ 連鎖反応 (RT-PCR)	フェレット流行性カタル性腸炎コロナウイルス (FRECV) とフェレット全身性コロナウイルス (FRSCV) を区別して検出いたします。 <ol style="list-style-type: none"> FRSCVとFRECVを区別するプライマーは最も変異の多いS遺伝子領域をターゲットとしているため、遺伝子変異などによりまれに両ウイルスを区別できないことがあります。その場合はフェレットコロナウイルスの検出のみのご報告となります。

※ 所要日数；受付日を0日とした営業日換算（土日祝は含みません）。

※ 検査料金；消費税別、会員料金（非会員の場合、検体当たり2,000円の取り扱い手数料がかかります）。

犬糸状虫 / 犬フィラリア (*Dirofilaria immitis*)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
犬糸状虫抗原	 血清（血漿） 0.2mL		2日以内	IC	
犬糸状虫遺伝子★	 全血 （EDTA処理） 0.4mL		5日以内	PCR	1. 遺伝子検査は EDTA 全血でお送りください。血清や血漿でも検査は可能ですが感度がかなり下がりますので好ましくありません。

ネオスポラ (*Neospora caninum*)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
ネオスポラ抗体	 血清（血漿） 0.05mL		5日以内	ELISA	1. 本検査の実施には帯広畜産大学原虫病研究センターのご協力をいただいております。

トキソプラズマ (*Toxoplasma gondii*)

▶40ページの「猫感染症検査」トキソプラズマの欄をご参照ください。

狂犬病

項目名	内容	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
狂犬病抗体 A	抗体検査のみ	 血清 1mL		15日以内	FAVN	<ol style="list-style-type: none"> 判定基準は 0.5IU/mL 以上です。 検体は弊社にお送りください。 ワクチン接種後、1～2 週間以降の血清をお送りください。 検査実施は一般財団法人 生物科学安全研究所 (RIAS) が行います。検査の内容及び結果の解釈など本検査の学術的な質問については RIAS までお問い合わせください。Tel: 042-762-2819 本検査に対応していない依頼書の場合は備考欄に狂犬病抗体検査 A または B と記載してください。 過度な溶血は検査できません。
狂犬病抗体 B	抗体検査 + 検査証明書					

！ 狂犬病抗体 B(抗体検査+検査証明書) ご依頼の場合の注意事項

- 狂犬病抗体検査証明書（兼申請書）の用紙に必要事項をご記入の上、必ず検体（血清）と同封してお送りください。
2回目ワクチン接種後、7～14日経ってから採血した検体（血清1mL）をお送りください。
※2回目ワクチン接種後は、1回目の接種から必ず30日以上間隔を空けて1回目のワクチンの有効期間内に行ってください（1回目の接種日を0日として計算して下さい）。
- 本申請用紙は弊社ホームページからダウンロードいただくか、お電話等でご請求ください。
- 本書と検体を別送された場合は証明書の発行はできませんのでご注意ください。
- 検査結果によっては再検査を行うことがあり、判定に時間がかかる場合があります。
- このため、海外渡航を目的として検査を依頼される場合は、時間的余裕をもって検査をご依頼ください。
1ヶ月前に検査依頼されることをお勧めします。
- 検査報告書は弊社から郵送または FAX でお送りいたします。
- 証明書は検査結果報告書とは別便で RIAS から飼い主様に郵送させていただきます。
申請書については郵送のみの対応となります。
- 次ページに検査証明書の記入例がありますのでこちらを参照の上、ご記入いただきますようよろしくお願いいたします。